

異なる地表面被覆下の土壌水における放射性セシウム濃度分布 The Cs-134 and Cs-137 concentrations in soil water covered by different vegetations

辻村 真貴^{1*}, イシュワル・ブン¹, 恩田 裕一¹, 羽田 真奈美¹, 五十嵐 康人²
TSUJIMURA, Maki^{1*}, Ishwar Pun¹, ONDA, Yuichi¹, HADA, manami¹, IGARASHI, Yasuhito²

¹ 筑波大学, ² 気象研究所

¹University of Tsukuba, ²Meteorological Research Institute

草地、牧草地、および森林地を対象とし、深度 10 ~ 50 cm までの土壌水を、サクシオンライシメータにより採水し、濾過後、ゲルマニウム検出器により Cs-134 および Cs-137 濃度分析に供した。試料採取は、2011 年 6 月から 8 月にかけて、福島県伊達郡川俣町山木屋地区において、1 週間から 10 日間隔で実施した。その結果、草地および放牧地の土壌水においては、0.1 ~ 2.5 Bg/kg の Cs-134、Cs-137 濃度が検出され、とくにもっとも浅い 10cm の Cs 濃度が高いという特徴がみられたのに対し、森林地においては深度 50cm において 1.6 Bg/kg と比較的高い濃度が検出された。

キーワード: セシウム, 土壌水, 森林, 草地

Keywords: cesium, soil water, forest, grassland